

# MAEBASHI 2016▶2017 WEEKLY REPORT

人類に奉仕するロータリー  
ROTARY SERVING HUMANITY



2016. 10. 11 (火)  
第 3012 回 例会報告

例会日…火曜日(12:10)～群馬銀行本店  
(第1回 昭和28年9月8日創立)

会 長…鴻田 敦 幹 事…長谷 浩克  
クラブ会報委員長…石川 敬 編 集 者…石井 繁紀

ホームページ URL <http://www.maebashi-rc.gr.jp/>  
電子メールアドレス [office@maebashi-rc.gr.jp](mailto:office@maebashi-rc.gr.jp)  
[maebashi@rid2840.jp](mailto:maebashi@rid2840.jp)

点 鐘 鴻田会長

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

司 会 石塚副幹事

ビジター 鴻田会長

国際ロータリー第2840地区

第1分区ガバナー補佐

佐藤 信一さん

米山記念奨学生

グエン ディン フンさん

前橋国際奨学生 オウ スイさん

ビジター挨拶

国際ロータリー第2840地区

第1分区ガバナー補佐 佐藤 信一さん

奨学金贈呈

米山記念奨学生

グエン ディン フンさん



会長報告

会長の時間

鴻田会長

会長の時間です。

本日は来月11月8日の豊川ガバナー公式訪問に関する、佐藤信一第一分区ガバナー補佐の事前訪問です。

本来ガバナー補佐の事前訪問はガバナー公式訪問の2週間前となっておりますが、外部卓話・夜間例会等当クラブの事情で4週間前の本日となってしまいました。

佐藤ガバナー補佐におかれましては、お忙しいところ予定をお差し繰り頂きまして大変申し訳ございませんでした。

佐藤ガバナー補佐は、ご存知の通り前橋東ロータリークラブの所属で、2007-2008年度の会長でいらっしゃいました。当時私は遠山親会長のもと幹事をしており、会長幹事会等で佐藤ガバナー補佐の厳しい薫陶(お酒を含む)を受けたものでした。

また、昨年度には、今年度実施される地区補助金の申請時には、地区補助金の担当委員として様々なアドバイスと頂戴しました。

アドバイスを頂戴した今年度の地区補助金事業は、ご存知の通り日赤血液センター・ハートランドの支援事業です。

当該事業のうち物品の贈呈式が本日举行されます。私と小林エレクト・長谷幹事・廣田理事の4名で出席します。

また、会員の方々の汗をかく仕事として、本日も会員の



皆さんにシール貼り等の作業をして頂き、かつ10月16日(日)曜日13時30分から前橋駅南口で献血の広報活動を予定しています。具体的にはローターアクトのメンバーとポケットティッシュを配り献血の促進運動をします。インターアクトにもお声がけをしています。

本日はいくつかの委員会に当クラブを代表して例会の中で発表し、佐藤ガバナー補佐の講評を頂戴することになっております。

豊川ガバナー公式訪問時のアドバイスも含め貴重な意見を頂戴できるものと期待しております。

本日はよろしくお願い致します。

会長の時間を終わります。

幹事報告 長谷幹事

1. 次回(10/18(火))の例会は、群馬県スポーツ協会の河崎和代さんの外部卓話となります。
2. 本日例会終了後、地区補助金事業で贈呈式に出席してきます。出席者は、鴻田会長、小林会長エレクト、廣田青少年奉仕担当理事、長谷です。鴻田年度で執行した地区補助金事業は献血事業の支援で、献血センターにコミック本を寄贈し、献血者増加を促進することです。それに加え、10月16日(日)に前橋駅南口で、献血を呼びかける活動として、チラシ及びティッシュ配りをRAC、IACと青少年奉仕委員会を中心に実施いたします。
3. 2016-17年度のクラブ現況報告書と第1分区の会員名簿を配付いたします。



副幹事報告 石塚副幹事

前橋南RC、前橋中央RC、安中RC、碓氷安中RC、沼田中央RC、藤岡南RC、桐生赤城RC

出席報告 山田 浩史

会 員 数：116名

{ 出席者 77名

{ 欠席者 39名

本日出席率：66.96%

前々回訂正：78.95%

ニコニコBOX報告 高橋会員

■平方 宏…秋晴れの体育の日、前橋大室公園に行ってきました。創立50周年記念事業で植



栽したくすの木は、大地に深く根をおろし、幹は隆々と太陽に向かって伸びていました。故江原会長の空からのまなざしを感じました。

- 望月 和子…Boxにバロックオーケストラのパンフレットを、入れさせていただきました。ヴィジュアルの「四季」他、星野洋一元会員の奥様の奈波和美さんが、ファゴット協奏曲のソリストで出演なさいます。
- 藏彦 敏之…いよいよ明日群馬づくりが発売されます。群馬の皆さんとコンセプトづくりした逸品です。
- 石井 繁紀…結婚記念日に素晴らしいお花を頂きありがとうございました。
- 田中 光一…結婚記念日のお花、有り難うございました。
- 吉永 國光…結婚のお花ありがとうございました。今年は前橋まつりに妻と子ども東京から来て、3人で結婚のお祝いを「朔詩舎」でやれました。
- 内山 清一…今日は米山記念奨学会委員会卓話でお世話になります。
- 鴻田 敦…佐藤ガバナー補佐のご訪問を歓迎致します。ご指導のほどよろしくお祈りします。
- ガバナー補佐 佐藤 信一…本日はお世話になります。

#### ガバナー補佐事前訪問

ガバナー補佐 佐藤 信一



SAA 平 宏 会員増強委員会 都丸 和俊



地域社会奉仕委員会 小林 幹昌



ロータリー財団委員会 山田 邦子



#### 委員長卓話

ロータリー米山記念奨学会委員長

内山 清一

10月は米山月間ですので、先ず、私から米山記念奨学事業について5分間位、趣旨説明とご寄付のご協力をお願い申し上げます。続いて、当クラブが世話クラブとしてお世話しております、米山奨学生のグエン・ディン・フン君に卓話をお願いします。

なお、皆さんのお手元にロータリー米山記念奨学事業豆辞典をお届けしておりますが、ご参考にして頂きたいと思っております。寄付金の税制上の優遇措置をはじめ「よねやま」についてのすべてをご理解頂けます。

ロータリー米山記念奨学事業とは1952年、日本で最初に設立された東京ロータリークラブがロータリー創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念し、二度と戦争の悲劇を繰り返さない為、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンの熱い願いによって始めた国際奨学事業が国内の全ロータリー地区の合同事業に発展したものです。

事業の使命は将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。

米山記念奨学事業は全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、

支援する国際奨学事業です。

事業の特長は二つあります。その1は民間最大で、60年の歴史を持つ日本のロータリー独自の国際奨学事業です。年間の奨学生採用数は740人、そのうち第2840地区は22名(2016学年度)。事業費は12,57億円(2015年度決算)。これまでに支援した奨学生数は累計19,197人(2016年7月現在)。奨学生の出身国は世界124の国と地域に及びます。

その2は世話クラブ・カウンセラー制度です。奨学生一人に対して、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、ロータリーとの交流の起点となります。さらに世話クラブ会員の中から「カウンセラー」が選ばれて、日常の相談役となります。奨学生が安心して留学生活を送れるよう配慮しています。当クラブがお世話しております米山奨学生のグエン・ディン・フン君の「カウンセラー」は私、内山清一で、前年に引き続き担当しています。

米山奨学生はクラブの例会や地域の奉仕活動、日本の企業人・専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、より深く日本を知りロータリーが求める平和の心を学んでいます。ロータリアンにとっても奨学事業の意義を実感し、視野を広める機会となっています。

先般、モンゴル国立健康科学大学へ、医療器具の贈呈などのために、再三、モンゴル訪問のきっかけとなったのも、当クラブの元米山奨学生のオイドブさんの橋渡しによって実現したものです。

さて、10月4日付けで、ボックスに米山奨学金ご寄付のお願いをしてございますが、鴻田会長年度の寄付目標額は会員お一人16,000円以上です。只今、申し上げましたことをご理解頂き、是非、ご寄付のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 専門分野を選んだ理由と今後の進路

2840地区のロータリー米山記念奨学生のグエン・ディン・フンと申します。自分の専門分野を選んだ理由と今後の進路について述べさせていただきます。

在籍している大学での研究を選んだ理由に強く影響したのはベトナムのある新聞記事でした。その記事はベトナムと中国の境のところにある少数民族の子供たちの生活について取材した記事でした。その子供たちはまだ小学生なのに、毎日、通学するために、朝4時から起きて、弱10kmの山道を渡って、川を渡るために、泳いで行きました。子供がやるべきではないことばかりやっています。毎日、知識を得るために、命を懸けています。それでも、諦めず、続いています。そのことから、自分のことを考えて、土木技術が優れている日本で留学している私はその子供たちのために何かやらないといけません。その子供たちの勉学の意欲に感動させました。その目標を持って、現在、日本で、土木分野を専門として、日々に頑張っており、勉強しています。

今後の進路ですが、現在、大学4年生で、三井住友建設会社の内定を頂きました。来年の4月から、社会人になります。入社試験の時、よく聞かれたのは「なぜ、日本で就職したいですか」という質問です。なぜかという、日本の教育を受けているからです。日本で学んだ知識はまず、日本で活用したいです。なぜ、三井住友建設を選んだのかというと、三井住友建設が日本の大手企業で、ODA提案を通じて、ベトナムで多くの実績がありました。これからも、ベトナムとかで益々事業を展開する予定がある企業です。まずは、三井住友建設で色々学んで、会社の一人前になりたいです。また、日本の企業の間でベトナムで働けるのは自分の望んでいることで、会社とベトナムの架け橋になれば、チャレンジしたいです。

※クラブ会報は会員の敬称は略させていただきます